

はじめに

(支援者のみなさまへ)

『ことばたんけんたい』は、ひらがなを習得する段階の子ども、書くこと・読むことが苦手な子ども、外国にルーツを持つ子どもの初期指導教材として生まれました。

7～8年ほど前から日本語指導に携わる支援者の間で、外国にルーツを持つ子どもの学習の困難さへの対応は、日本語指導だけでは支援しきれない事例があるのではという意見が聞かれるようになりました。

たとえば、日常生活での日本語は比較的流暢に話せるのに、日本語も母語も年齢相応の力が育っていないダブルリミテッドの子ども、「ぬ」と「め」、「わ」と「れ」など似ている字形の区別が困難な子ども、ほんの数行の文章でもつまりながら読む子ども、書いた字が鏡文字のようになり、何度練習してもノートの枠からはみ出してしまう子ども、感情のコントロールが苦手な子ども、授業中に立ち歩いてしまう子ども——私たち支援者はそうした子どもにたくさん出会ってきました。

子どもたちに寄り添う支援をするためには、筆者自身、特別支援教育について学ぶ必要があると考えました。そして、大学で学んだ支援教育の視点を取り入れて、外国にルーツを持つ子どもと学習に困難を抱える日本の子どものために、眼球運動やソーシャルスキルトレーニングなどを組み合わせた教材の開発を行おうと考えました。

そして、2021年12月に本教材の試作版として、『ことばたんけんたい』の前身を科研費の助成で自主制作しました（ここではオリジナル版と呼びます）。

2024年に日本語教育と特別支援教育の双方の視点で開発したこの教材の巻頭には、日本語教育と特別支援教育の専門家による学習項目の解説と支援のヒントが述べられていますので、支援の参考にしていただけたらと思います。

2022年から2023年にかけて、筆者が支援している小学校の日本語指導でオリジナル版を一年生6人に使ってもらいました。じっくり考える子、「この答えはなに？」とすぐ聞く子、先に挿絵に興味を持つ子、文字よりも絵をかくタスクが好きな子など、反応はさまざまでしたが、どの子も熱心に楽しそうに取り組んでくれました。

実際に子どもたちに使ってもらって得られたいくつかの気づきを、教材の改善に生かしました。また、同じことばを2回以上書くことに抵抗を示す子どもが多かったので、本書では書く練習は1回にしました。

オリジナル版は筆者が日本語支援をしている小学校の6人以外にも、全国6地域の日本語指導を受ける子どもたちに使ってもらい、支援者の方から、選択肢の重複や解答に時

間がかかった問題などご指摘をいただきました。『ことばたんけんたい vol.1』では、そうしたフィードバックを反映させて問題の修正や追加を行いました。

また、下記のサポートサイトに「支援のヒント」がありますので、ご覧いただけたら幸いです。

「たんけんたいシリーズ」サポートサイト

<https://www.bonjinsha.com/wp/tankentai>



こうしてオリジナル版の試用と修正を経て、『ことばたんけんたい』を出版する運びとなりました。「Vol.1 文字とことば：ひらがな編」「Vol.2 文字とことば：カタカナ編」です。

なお、「たんけんたいシリーズ」としては、「くらふとたんけんたい」「がっこうたんけんたい」「かいものたんけんたい」「すぐろくたんけんたい」も自主制作してきました。これらは私家版教材ですが、主に保育所・幼稚園での就学前指導の「プレスクール」などで使用しています。

本教材をお使いいただく支援の場で、子どもたちが楽しい時間を過ごせることを願っています。また、ご意見やご感想などをお寄せいただけたらありがたく存じます。

本教材の問題作成においては、年少者日本語教育の専門家で学習項目表を書いてくださっている松本恭子先生から、多くのご助言をいただきました。最後になりますが、いつも適切なアドバイスをくださった凡人社編集部の渡辺唯広編集長と大橋由希さんに心から感謝いたします。

2024 年 5 月

川崎直子

本教材は、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みましがえにくいデザインの文字を採用しています。

On the basis of the policy of universal design (UD), easy to understand and easy to read character designs are used.



もくじ

はじめに（支援者のみなさまへ） i

『ことばたんけんたい vol.1』 学習項目表（日本語教育と特別支援教育） iii

Part 1 ひらがな【基礎】

眼の運動	no.01～no.19	p. 1
ひらがな五十音	no.20～no.22	p. 13
ひらがなを書きましょう	no.23～no.26	p. 16
同じ文字を見つけましょう	no.27～no.36	p. 20
隠れている言葉をさがしましょう	no.37～no.42	p. 30

Part 2 ひらがな【発展①】 特別な音を書きましょう

「ん」	no.43	p. 36
小さい「つ」	no.44	p. 37
濁音と半濁音	no.45～no.47	p. 38
小さい「や」「ゆ」「よ」	no.48～no.53	p. 41
「を」	no.54～no.55	p. 47

Part 3 ひらがな【発展②】 ひらがなで言葉を書きましょう

似ているひらがなに気をつけましょう	no.56～no.60	p. 48
右から読むと、どんな言葉ですか	no.61～no.68	p. 53
ひらがなを並べ替えて、言葉にしましょう	no.69～no.78	p. 61
「あ」～「ん」がつく言葉を書きましょう	no.79～no.83	p. 71
小さい「つ」がつく言葉を書きましょう	no.84～no.85	p. 76
のばす音がつく言葉を選びましょう	no.86～no.91	p. 78

Part 4 ひらがな【発展③】 絵を見て言葉を書きましょう

顔・体・手の部位を書きましょう	no.92～no.94	p. 84
絵を見て、物の名前を書きましょう	no.95～no.99	p. 87
絵を見て、動作の言葉を書きましょう	no.100～no.102	p. 92

Part 5 ひらがな【応用】

言葉を見つけましょう（クロスワード）	no.103～no.112	p. 95
--------------------	---------------	-------

[著者プロフィール]

川崎 直子 (かわさき・なおこ)

愛知産業大学短期大学国際コミュニケーション学科 教授

一般社団法人かにえ子ども日本語の会 代表理事、一般社団法人ViVarsity 監事、支援教育専門士

カリフォルニア州立工科大学ポモナ校修了、南山大学大学院博士後期課程修了・博士(言語科学)

研究分野は第二言語習得、年少者日本語教育、地域日本語教育、特別支援教育

アメリカ留学中に、日本にルーツを持つ幼稚園児から高校生まで通う週末日本語学校で継承語日本語教育に出逢う。2004 年から愛知県西部地区の小中学校で外国にルーツを持つ子どもの日本語支援、保育所・幼稚園でのプレスクールを実施している。

2018 年度、2022 年度の科学研究費基盤研究 (C) の助成で、発達に困難を抱える外国にルーツを持つ子どものための特別支援教育の視点を持つ日本語支援教材開発や支援者間ネットワークの構築、アセスメント等を研究している。

[著書]

- ・『日本語教育への道しるべ』(シリーズ監修/第1巻~第3巻共著) 凡人社, 2017 年
- ・「外国につながる『困り感』のある子どもの指導に関して」『ことばと文字』くろしお出版, 2017 年
- ・プレスクール教材『ひらがなたんけんたい』『くらふとたんけんたい』『かいものたんけんたい』『がっこうたんけんたい』(教育 GP 助成), 『オリジナル版 ことばたんけんたい』(科研費助成)

協力 松本 恭子 (元 愛知産業大学短期大学 非常勤講師)

米田奈緒子 (一般社団法人家庭教育研究センター FACE 代表理事)

イラスト 杉浦 恵子

表紙デザイン 山田明日香 (コミュニケーションアーツ株式会社)

本教材は、令和4年度科学研究費基盤研究(C)(研究代表川崎直子)の助成を受けています。

たんけんたいシリーズ①

ことばたんけんたい vol.1

ことばをみつけましょう [文字とことば: ひらがな編]

2024 年 5 月 20 日 初版第 1 刷発行

著 者 川崎直子

発 行 株式会社 凡人社

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-13

電話 03-3263-3959

印刷・製本 倉敷印刷株式会社

定価はカバーに表示してあります。乱丁本・落丁本はお取り換えいたします。

*本書の一部あるいは全部について、著作者から文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で、転載・複写・複製することは法律で固く禁じられています。

ISBN 978-4-86746-025-2

©KAWASAKI Naoko 2024 Printed in Japan